

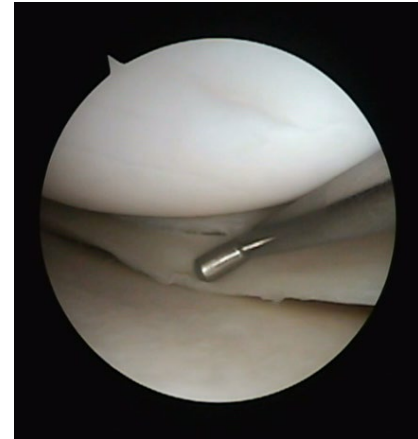
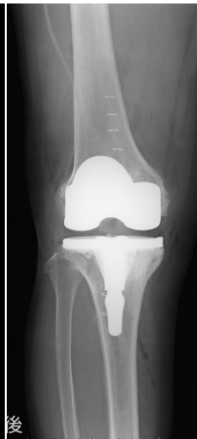
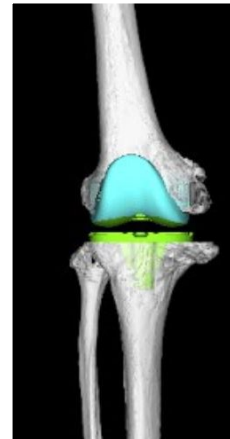
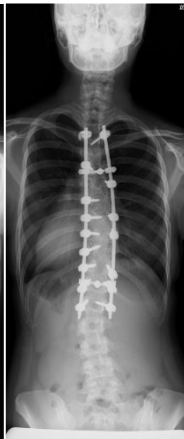
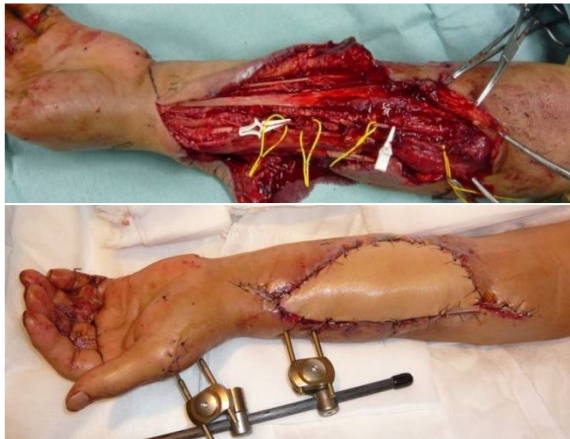
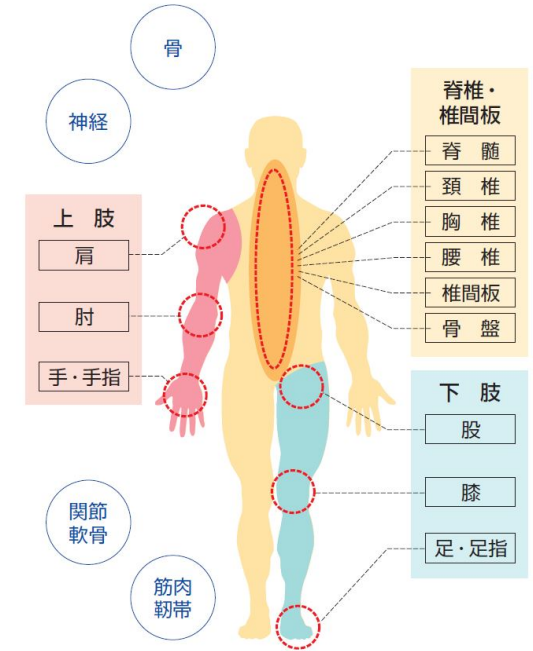
整形外科

当科の特色

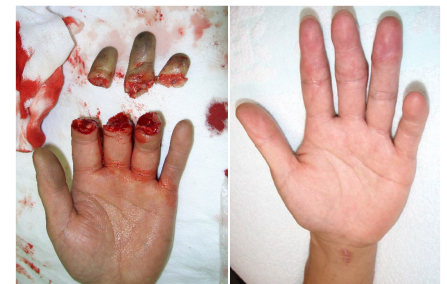
整形外科は**運動器**(骨、軟骨、筋肉、靭帯、神経など)の疾病・外傷を対象とする**唯一の診療科**で、その領域は上肢、脊椎、下肢の広範囲に及びます。患者の年齢層も新生児、小児、学童から成人、高齢者までと幅広く、その内容は多様で治療の必要な患者数が極めて多いのが特徴です。

また、より高度な医療を提供するために、関節、リウマチ、脊椎脊髄、腫瘍、外傷、マイクロサージャリー、スポーツ、リハビリテーションなど豊富な専門領域を有しています。

さらに、健康増進習慣の広まりや社会の高齢化などの変化に伴い、骨・関節・脊椎における外傷やスポーツ傷害、変性疾患は増加傾向にあり、ますます当科のニーズは高まっています。



- 1. 基本的手技の習得:** 創縫合や外傷の初期治療、各種検査、小手術など、マンツーマンでの懇切丁寧な指導の元、豊富な症例から基本的手技を身に付けます。
- 2. 運動器疾患の理解:** 担当患者を実際に診療するのみならず、カンファレンス等に参加することで幅広い疾患を経験することが可能です。
- 3. チーム医療の実践:** 指導医と若手医師からなる少数チームの一員として、上級医と様々なことを相談しながら診療に当たります。
- 4. 豊富な専門領域:**
 - ① 関節、スポーツ:** 変形性関節症に対する人工関節置換術や骨切り術、靭帯損傷などのスポーツ外傷に対する関節鏡視下手術(図)。
 - ② 関節リウマチ:** 生物学的製剤などを中心とした保存療法、コンピューター支援技術(図)を併用した人工関節手術や関節形成術。
 - ③ 脊 椎:** 内視鏡による低侵襲手術、脊椎除圧術、椎体間固定術、脊柱側弯症に対する矯正固定術など、幅広い脊椎脊髄手術を網羅。
 - ④ 腫 瘍:** 化学療法と手術を組み合わせた患肢温存を原則とし、パストツール処置骨による自家骨移植など、より高いADL獲得を目指す。
 - ⑤ 手の外科:** 切断指の再接着(図)や、皮膚欠損部への遊離皮弁移植など、マイクロサージャリーの技術を駆使して、あらゆる組織を再建。



運動器疾患の基本を学びたい方

1. 運動器疾患の病歴や身体所見がとれ、評価、記載ができる。
2. 疾患に適切なX線の撮影部位と方向を指示できる。
3. 四肢外傷に伴う全身的・局所的症状を述べることができる。
4. 骨折や創傷に対する応急処置ができる。
5. 清潔操作を理解し、創処置および手術の助手ができる。
6. 術後局所所見の評価ができる。

👉 四肢の外傷は、救急当直では必ず遭遇します。初期対応が適切にできるようにマンツーマンできめ細かい指導を行います。



将来の選択科として整形も考えている方

1. 骨折、神経、血管損傷を診断でき、その重症度を判断できる。
2. 関節疾患の鑑別診断、初期治療計画を立てることができる。
3. 脊椎疾患の鑑別診断、初期治療計画を立てることができる。
4. 神経学的観察によって脊髄損傷の麻痺の高位を判断できる。
5. 運動器の腫瘍性疾患の診断における基本的手順を計画できる。
6. リハビリテーションの処方、記録ができる。
7. 上級医の指導のもと、小手術ができる。
8. 症例をまとめて、学会発表ができる。

👉 チームの一員として診療に当たります。希望に応じて2～3チームをローテーションし、幅広い知識と技術を習得します。

👉 様々な医局行事に参加しましょう！当科の良さが見えてきます。

	月	火	水	木	金
午前	<ul style="list-style-type: none"> ・ 術前カンファレンス ・ 病棟、外来 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 教授回診 ・ 手術 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 研究会議 ・ 病棟、外来 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 術前カンファレンス ・ 手術 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 術後カンファレンス ・ 病棟、外来
午後	<ul style="list-style-type: none"> ・ 病棟 ・ 各種検査 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 手術 ・ 抄読会 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 病棟 ・ 各種検査 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 手術 ・ リハビリカンファレンス 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 病棟 ・ 各種検査

- ✓ **術前カンファレンス**: 手術症例について、治療方針決定のための全員参加による検討会です。担当医が病態と治療方針をまとめてプレゼンテーションを行います。
- ✓ **手術**: 術前計画をあらかじめ行った上、担当患者の手術に入ります。主に助手を行います。研修後半には小手術を執刀します。
- ✓ **病棟**: 所属するチームの入院患者を担当します。毎日朝夕、チームの先生と回診を行いますが、それ以外にも患者の元に足を運び、積極的に診療に関わりましょう。
- ✓ **外来**: 初診患者の病歴徴取や診察、必要な検査を行い、上級医とディスカッションしながら病態把握に努め、治療方針を決定していきます。
- ✓ **各種検査**: 関節エコー検査、脊髄腔造影、末梢神経伝導速度など、上級医とともにいきます。
- ✓ **自己学習**: 多くの文献と先輩を利用してください。

